

更尽会 2010 年度活動報告（案）

1. 第9回総会について

第9回総会を平成22年7月4日（日）、茨城大学工学部都市システム工学科において開催し、2009年度の活動報告および決算、2010年度の活動計画および予算などについて決議した。

また、会員間の交流、在学生への更尽会の周知および在学生との交流を図るため、例年と同様に会員および在学生との懇親会を実施した（出席者47名）。



総会風景



全員集合!!



総会後の懇親会



在学生との交流

2. 幹事会について

第18回幹事会を次のとおり開催し、総会の議事内容及び本会の運営等について審議した。

- 開催日時：平成22年5月30日（日）14:00～16:25
- 開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室
- 議事内容：第9回総会の議事内容、2010年度会費納付案内等について 他

3. ニュースレター2010の発行について

平成22年11月24日にニュースレター2010を発行した。ニュースレター2010には、第9回総会の議決事項と各種案内を掲載した。会費納付案内、会員情報登録票、連絡先不明者一覧などの各種案内と一緒に805名の会員に対して送付した。

4. 年会費の納付状況（2011年3月31日現在）について

更尽会会費の納付案内を平成22年11月に実施した。また、郵便振替口座・自動払込希望者に対しては平成22年4月20日に自動払込（8名）を実施した。2011年3月31日現在、各期の会費納付状況は下表のとおりである。なお、全体の納付率の年度推移をみると、17.7%（H21.3.31現在）→17.6%（H22.3.31現在）→17.4%（H23.3.31現在）のように減少傾向となった。

更尽会年会費納入状況（平成23年3月31日現在）

会員種別	学科	期	卒業年度	納付済み		納付予定		納付率 (%)
				口数	金額(円)	口数	金額(円)	
正会員	建設工学科	1	S59	167	334,000	153	306,000	52.2
	建設工学科	2	S60	109	218,000	181	362,000	37.6
	建設工学科	3	S61	66	132,000	294	588,000	18.3
	建設工学科	4	S62	137	274,000	293	586,000	31.9
	建設工学科	5	S63	145	290,000	235	470,000	38.2
	建設工学科	6	H01	216	432,000	187	374,000	53.6
	建設工学科	7	H02	171	342,000	259	518,000	39.8
	建設工学科	8	H03	124	248,000	326	652,000	27.6
	建設工学科	9	H04	64	128,000	326	652,000	16.4
	建設工学科	10	H05	115	230,000	305	610,000	27.4
	都市システム工学科	1	H06	144	288,000	486	972,000	22.9
	都市システム工学科	2	H07	80	160,000	630	1,260,000	11.3
	都市システム工学科	3	H08	215	430,000	515	1,030,000	29.5
	都市システム工学科	4	H09	151	302,000	559	1,118,000	21.3
	都市システム工学科	5	H10	131	262,000	374	748,000	25.9
	都市システム工学科	6	H11	100	200,000	620	1,240,000	13.9
	都市システム工学科	7	H12	75	150,000	615	1,230,000	10.9
	都市システム工学科	8	H13	39	78,000	531	1,062,000	6.8
	都市システム工学科	9	H14	17	34,000	663	1,326,000	2.5
	都市システム工学科	10	H15	40	80,000	620	1,240,000	6.1
	都市システム工学科	11	H16	68	136,000	542	1,084,000	11.1
	都市システム工学科	12	H17	65	130,000	665	1,330,000	8.9
	都市システム工学科	13	H18	45	90,000	605	1,210,000	6.9
	都市システム工学科	14	H19	51	102,000	609	1,218,000	7.7
	都市システム工学科	15	H20	0	0	560	1,120,000	0.0
	都市システム工学科	16	H21	18	36,000	562	1,124,000	3.1
	大学院都市システム工学専攻修了生			20	40,000	230	460,000	8.0
準会員	大学院博士後期課程、その他			1	2,000	259	518,000	0.4
合計				2,574	5,148,000	12,204	24,408,000	17.4

6. 学科支援活動（その1）－特別講師の派遣について－

在学生の就職活動等を支援する取り組み（授業「都市システム工学特別講義」の「職場研究」への講師派遣）を以下のとおり実施し、学生からの好評を得た。2010年度の講師派遣では、3回の講義枠に対して5名の会員に特別講義をお手伝いいただいた。

更尽会から派遣した職場研究の特別講師一覧

実施日時	講師名（卒業年度）	所 属
平成22年11月8日	鯉 渕 幸 生 氏（平成7年度）	東京大学大学院 新領域創成科学研究科
平成22年11月22日	川 口 英 一 氏（平成6年度）	東京電力株式会社
	櫻 井 隆 氏（平成16年度）	茨城県土木部
平成22年11月29日	岡 崎 伸 二 氏（平成7年度）	株式会社都市環境計画研究所
	関 野 礼 子 氏（平成9年度）	株式会社不動テトラ

7. 学科支援活動（その2）－在学生の学術活動に対する報奨制度について－

「学術活動に対する報奨の実施に関する要項」に基づき、2010年度（平成22年度）に発表された在学生の研究論文を対象として、更尽会賞（修士論文発表賞および卒業研究発表賞）を贈呈した。以下に、表彰内容と受賞者等を示す。

【表1】更尽会賞の表彰件数と報奨金および記念品

賞の名称		表彰件数	報奨金および記念品
修士論文 発表賞	最優秀賞	1件	賞状+楯（トロフィー）+報奨金（商品券）
	優秀賞	3件	賞状+報奨金（商品券）
卒業研究 発表賞	最優秀賞	1件	賞状+楯（トロフィー）+報奨金（商品券）
	優秀賞	2件	賞状+報奨金（商品券）

【表2】更尽会賞の受賞者

賞の名称		受賞者氏名 (敬称略)	所属研究室	指導教員
修士論文 発表賞	最優秀賞	鈴木 準平	水圏環境	藤田昌史 准教授
	優秀賞	江田 雄樹	景観・空間設計	桑原祐史 准教授
		小川 寛久	防災・環境地盤工学	村上 哲 准教授
		甲斐 紳也	構造・地震工学	呉 智深 教授
卒業研究 発表賞	最優秀賞	神野 真弥	構造・地震工学	車谷麻緒 助教
	優秀賞	坂野 彰	防災・環境地盤工学	村上 哲 准教授
		中川 拓也	構造・地震工学	井上凉介 准教授

更尽会第6期（2011～2012年度）幹事（案）

卒業年度	氏 名	
昭和 59 年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和 60 年度	根 田 信 義	蛭 町 修 身
昭和 61 年度	野 中 伸 一	須 原 茂
昭和 62 年度	長 山 公 信	早 川 裕 史
昭和 63 年度	古 川 英 希	山 田 道 雄
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成 2 年度	宮 本 仁	平 野 有 志
平成 3 年度	高 橋 学	人 見 満 博
平成 4 年度	小 林 卓 也	橋 本 則 保
平成 5 年度	大久保 啓 一	松 本 隆 弘
平成 6 年度	金 原 和 彦	小 山 博 之
平成 7 年度	藤 田 昌 史	平 澤 俊 之
平成 8 年度	西 坂 淳	越 川 満
平成 9 年度	石 川 慎 吾	菊 池 稔 明
平成 10 年度	飯久保 励	山 川 良 徳
平成 11 年度	岩 下 健太郎	小 針 修 一
平成 12 年度	石 内 鉄 平	坂 本 宏 司
平成 13 年度	高 崎 拓 也	古谷田 彰
平成 14 年度	大 信 克 男	鈴 木 久美子
平成 15 年度	伊 藤 徹	宮 内 大 輔
平成 16 年度	鈴 木 希 美	米 川 義 幸
平成 17 年度	大 森 慎 哉	小 林 正 明
平成 18 年度	大 内 はるか	信 山 和 大
平成 19 年度	猪 狩 淳	杉 浦 航
平成 20 年度	石 橋 直 樹	北 山 貴 大
平成 21 年度	遠 藤 さち恵	宮 崎 博 史
平成 22 年度	小山田 拓 郎	山 城 健 太

更尽会 2011 年度活動計画（案）

2011 年度の更尽会の活動は、諸般の事情を考慮し、規模を縮小して実施する。詳細は以下のとおりである。

1) 第 10 回総会は中止する。

2) 幹事会については以下のとおり実施し、総会に代わって議案を審議する。

【第 19 回幹事会】

開催日時：平成 23 年 12 月 18 日（日）13:00～

議事内容：①2010 年度活動報告・決算について、②第 6 期幹事と役員について、③2011 年度活動計画・予算について、④2011 年度会計監査役について 他

3) ニュースレター2011 の発行は取り止め、更尽会 HP を利用して情報発信する。

4) 2011 年度の会費納付案内は中止し、次年度に延期して実施する。なお、郵便振替口座・自動払込希望者に対しては、すでに平成 23 年 4 月 20 日に自動払込を実施済みである。

5) 在学生への就職支援活動および学術活動への報奨制度は昨年度と同様規模で継続し、学科とのつながりを一層深め、在学生に対して更尽会の存在を更にアピールする。具体的には、特別講師の派遣による講義支援を継続するとともに、更尽会賞（修士論文発表賞および卒業研究発表賞）による在学生の学術活動に対する表彰も継続実施する。

以上

更尽会 2011 年度 会計監査役（案）

卒業年度	氏 名
平成 15 年度	佐 藤 大 作
平成 18 年度	渡 邊 保 貴